

5月臨時議会

共産党議案提出、賛成討論。公明党が反対討論

「共謀罪阻止」の意見書否決 5人退席

退席するなら賛成して

5月16日の臨時市議会では、日本共産党が提案した「共謀罪」を創設しないよう求める意見書が、

日本共産党山口、岡本、磯貝の賛成3人、岡本達朗、神谷 悟、杉浦文敏、鈴木みのり、小池ゆきこ各5議員は退席しました。

民進党とは国会で協力しています。退席ではなく賛成していただきたいものです。結局新議会11人全員と公明党2人の反対で、否決となりました。

安倍内閣の代弁者、公明党

公明党は反対討論で「一般市民には影響ない。オリンピックに必要な」など安倍内閣と同じ主張を繰り返しました。

日本共産党は、政府与党が18日にも衆議院本会議で採決を強行しようとする緊迫した状況の中「今こそ地方自治の立場で国の暴走を止めよ

正副議会人事（敬称略）			日本共産党
議長	石川輝彦	市民クラブ	
副議長	祢宜田拓治	新政会	
監査委員	磯貝幸雄	新政会	
総務文教委員長	新美交陽	新政会	岡本守正
〃 副委員長	鈴木清貴	新政会	
福祉健康委員長	杉浦哲也	新政会	山口はるみ
〃 副委員長	生田綱夫	新政会	
経済建設委員長	沓名 宏	新政会	磯貝明彦
〃 副委員長	山中謙治	新政会	
議会運営委員長	林田 要	新政会	山口はるみ
〃 副委員長	鈴木みのり	みらいクラブ	
海外対策委員長	岡本守正	日本共産党	岡本守正
〃 副委員長	杉浦文俊	市民クラブ	
まちづくり委員長	大竹敦子	公明党	山口はるみ
〃 副委員長	小林恒造	新政会	
議会基本条例委員長	神谷 悟	市民クラブ	山口はるみ
〃 副委員長	鈴木良和	新政会	
広域連合消防議会			磯貝明彦

う」と提案説明を山口はるみ議員が、賛成討論は磯貝明彦議員が行い採決をめぐりました。

議会改革いいながら

相変わらず

密室協議で正副役職人事

臨時議会では、1交代の正副議長、監査委員、正副委員長、特別委員会委員、広域連合消防議員、衣浦衛生組合議員、後期高齢広域連合議員などの選任がされました。

市民クラブは、石川輝彦議員への支持依頼を日本共産党に求めてきました。

日本共産党は、新議長としての具体的な議会改革を示すこと、核兵器廃絶のヒバクシャ署名を行うことを要請し、支持しました。

新政会が数をたのみに

三常任委員会の正副独占

最大党派11名は、市民クラブの議長選出との取引で3常任委員会の正副委員長と監査委員、後期高齢者広域連合議員を独占しました。

すべて、水面下の密室協議で割り当てたのです。日本共産党は、交代制の議会人事は、全会派で公平に話し合い分担しあうことを求めています。

議会の民主化は公正公平こそ

議会制民主主義の基本は、公正公平が基本です。日本共産党は、今後も、新議長にいつそその民主的な議会への改革の提案をしていきます。

総事業費15億円の

レールパーク今年が最終年

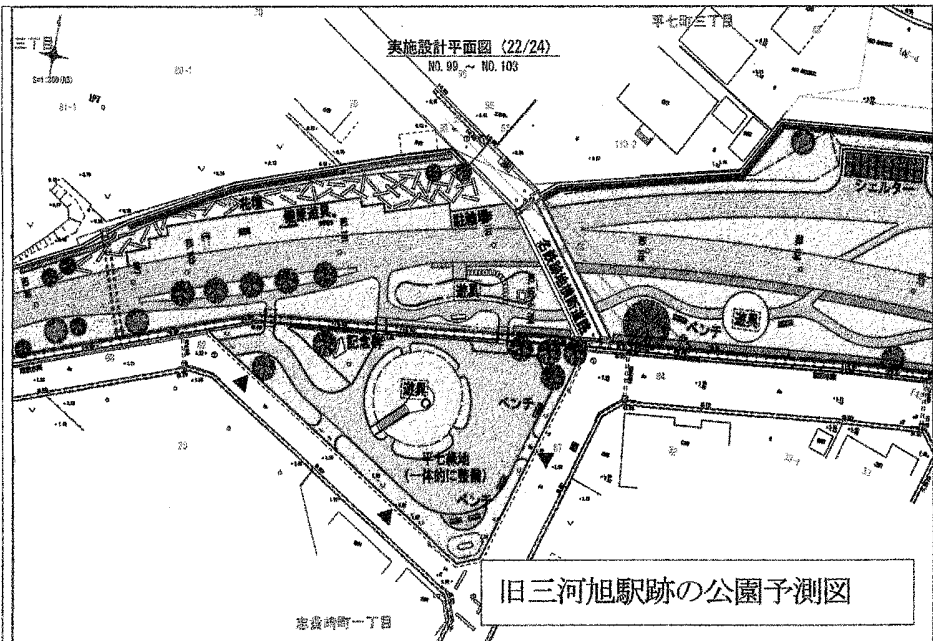
3億円で購入した名鉄廃線跡地整備計画。平成29年度が最終年となります。

総事業費は約15億円で、29年度は旧三河旭駅跡地の公園づくりとなります。

住民からは、市道の直線化など、要求運動もありました。さらに、公園に不要な、宅地の処分も未定となっています。

まちづくり特別委員会は年に1・2回しか開いてきませんでした。住民の声を聞くワークショップも終わりにしています。

7月ごろに工事の入札が予定されています。設計の見直し、植栽の種類なども市民と議会に詳細に報告するため、こまめに委員会開催を行うよう日本共産党は求めます。



旧三河旭駅跡の公園予測図

「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織的犯罪処罰法改正案って何？

ツイッターに投稿した漫画「戦国コミケ」が話題になった漫画家・横山了一さんと、「発酵かあさん」で知られる妻で漫画家の加藤マユミさんが、夫婦で描きました。

「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織的犯罪処罰法改正案とはどんな法案なのか？

朝日新聞ではこう解説されています。

「『テロリズム集団その他の組織的犯罪集団』のメンバーが、資金や物品の手配、下見その他の『準備行為』を行うことを要件に、計画段階から罪に問う内容。小泉政権で3回にわたり提出し、廃案となった共謀罪法案を衣替えした。政府は国際組織犯罪防止条約締結とテロ対策のために必要だとして、『テロ等準備罪』の呼び名を使っている」

仲間同士で犯罪をしようと合意した段階で罪に問うもので、実行行為を処罰する日本の刑事法の原則を大きく変えることになる、この法案。国際組織犯罪防止条約の締結などを理由に2000年代に3回、国会に法案が提出されましたが、「一般の市民団体や労働組合が対象となる」「思想や内心を理由に処罰される」と批判を浴び、いずれも廃案になった経緯があります。

安倍首相は「我が国が、テロ組織による犯罪を含む国際的な組織犯罪の抜け穴となることを防ぐ」などとして、テロ対策にとって法案の早期成立が必要としています。

これに対し、野党側は「法案はテロ対策の万能薬ではない」「誰もが処罰の対象になりうる」「ひとたび内心を処罰する法律をつくれば、時の政権と捜査機関次第で、恣意的に解釈される」と反論しています。

表記をめぐるっては、新聞社によって異なります。法案が国会提出された翌日の3月22日付朝刊の見出しで、括弧付きの「共謀罪」を使用した在京紙は、朝日、毎日、日経、東京の各紙。読売、産経は政府の呼称「テロ等準備罪」から「等」を抜いた「テロ準備罪」を使いました。

ストレートに“反戦”

藤井達吉現代美術館 21日(日)まで

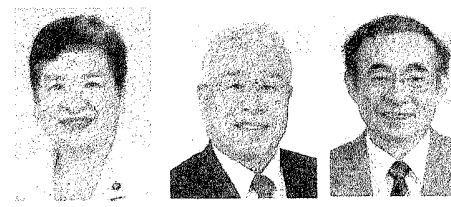
一花森安治の仕事

NHKの朝ドラ「とと姉ちゃん」に描かれた「暮らしの手帳」編集長の花森安治氏。作品約740点が展示されています。全国4ヶ所しか巡回しません。雑誌に寄稿した平塚らいちよう、中村メイコさん。坂本九、永六輔さんらの原稿も展示されています。「働く人こそ美しくなる権利がある」など、中つり広告のストレートな言葉には、戦時中の閉塞状態から解放された前向きな躍動感があふれています。1968年の特集「戦争中の暮らしの記録」には、「あの日の後に生まれたひとに」として「生まれて初めてペンをとった文章をこれまで読んだことがあるだろうか・・・できることなら君もまた、君の後に生まれる者のために、そのまた後に生まれる者のために、この一冊をたとえぼろぼろになってもこしておいてほしい」と花森のメッセージが私たちに訴えます。

投稿した庶民のことばとともに、一銭五厘で招集された無念の思いを「一銭五厘の旗」として掲げたのです。いま共謀罪や「憲法懐憲」の安倍政治のもと、碧南市議会で代弁者として共謀罪阻止の意見書に反対討論を行った公明党市議に「まなこを開けて見なさい」と心から言いたい。来館者は三重県など遠方からも、ぜひ機会を逃さず一見を。(山口 記)



日本共産党碧南市会議員団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253

日本共産党
憲法9条改悪阻止
闘争本部を発足